

## G A P 部門における取組内容の記載事項（例）

| 審査項目                | 応募書・推薦調書への記載事項（例）   |
|---------------------|---|
| 生産工程管理の改善に向けた取組     | <p>食品安全、環境保全、労働安全、人権保護及び農場経営管理の項目についてG A Pを実施し、これらの項目の中で特筆すべき取組を行っている。</p> <p>（例）</p> <p>①蛍光灯への飛散防止の措置等、異物混入を防止する措置の実施により、異物混入により廃棄する農産物が減少し、有効出荷量が〇年次より〇%上昇した（具体的な防止措置の一覧を添付すること）</p> <p>②脚立は2段目までしか使用しないとといった独自ルールの制定により、農作業中の事故が起こるリスクの軽減を図り、〇年間、重大な事故が発生していない（独自ルールの一覧を添付すること）</p> <p>③危険な箇所を記した地図を作成するとともに、当該箇所に立て看板を設置する等、危険な箇所を視覚化したことで、農場内で働く者だけでなく、外部の者からも容易に危険な箇所を判別できるようになった。 等)</p> |
| G A P の継続に向けた取組     | <p>G A P の継続にあたり、取組に要する負担を軽減し、継続を容易なものとするための工夫を行っている。</p> <p>（例）</p> <p>①ICTシステムの導入による生産履歴記帳の負担軽減</p> <p>②取組農家を一堂に集め取組意見交換会を定期的を開催</p> <p>③団体事務局と農家で役割を分担し、農家負担を軽減 等)</p>   |
| 生産効率性の向上に向けた取組とその効果 | <p>作業の効率化や、資材・労働時間の削減に寄与している具体的な取組及びその効果</p> <p>（例）</p> <p>①作業手順をフローチャート化し、改めて手順を整理することで、無駄な作業や順序の効率化が図られ、従前は〇時間必要としていた作業が、〇時間に軽減された。</p> <p>②資材の在庫量をシステム上で管理することで、常に従業員全員で最新の在庫量を共有でき、不要な資材の購入することがなくなり、資材の購入費用が〇%減少した。</p>  |

|                         |   |
|-------------------------|---|
|                         | <p>③従業員の労働時間を明確に規定し、タイムカードで厳格に管理するようにしたことで、従業員の労働時間が昨年より〇時間減少した。 等)</p>   |
| <p>経営の改善に向けた取組とその効果</p> | <p>取引の拡大、コスト削減、従業員の意識向上などの経営改善に寄与している具体的な取組とその効果。</p> <p>(例</p> <p>①GLOBALG. A. P. 認証を取得したことで、〇〇との取引を新規に開拓でき、出荷量が昨年比〇%増えた。</p> <p>②経営会議に全従業員を参加させることにしたことで、従業員1人1人に、農業経営の意識が芽生え、改善への提案を積極的に行うようになり、作業の効率が大幅に向上した。</p> <p>③農薬の使用残が発生しないよう必要な量だけ秤量して散布液を調整するようになったことで、昨年度と比較して農薬の使用量が〇%減少し、農薬購入に要したコストが〇円削減できた。 など)</p> |
| <p>地域の内外への波及に向けた取組</p>  | <p>消費者や流通業者等への啓発、関係者との交流を通じて、地域の内外にネットワークを構築する等、波及に向けた具体的な取組</p> <p>(例</p> <p>①GAP に興味を持つ農家に積極的に声かけし、団体認証の農家数を新規認証取得時より、〇年間で〇経営体増やした。</p> <p>②〇〇主催の講演会に講師として招聘され、GAP の取組等について紹介し、GAP への興味喚起を図った。</p> <p>③●●新聞で当農場の GAP の取組が紹介された 等)</p>   |

## 有機農業・環境保全型農業部門における取組内容の記載事項（例）

| 審査項目                      | 応募書・推薦調書への記載事項（例）  |
|---------------------------|--|
| 土づくりの取組                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌診断、センシング技術の活用による施肥の最適化、堆肥・有機質肥料、土壌改良資材、緑肥等の資材の選択、土壌物理性の改善のための耕耘や水管理、輪作</li> <li>・地域資源の活用（家畜排泄物、稲わら、食品残さ等）・土壌の浸食、流亡対策 等</li> </ul>  |
| 地球温暖化抑止や生物多様性保全などの取組      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌中への炭素貯留やメタン・NO<sub>x</sub>等の排出を抑制する土壌管理・施肥・農法等とその効果</li> <li>・化学合成農薬の節減（発生予察、IPM、性フェロモン剤、天敵、アイガモ等）</li> <li>・野鳥や水棲生物、土壌生物の生息状況の維持改善に資する取組とその効果 等</li> </ul>                    |
| 効率的な生産に向けた取組              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地・遊休農地など有機農業等に適した農地の活用による面積拡大</li> <li>・有機農地の集約化</li> <li>・技術講習会の開催による技術共有</li> <li>・機械・施設の共同利用</li> <li>・資材の調達方法の工夫による資材コストの低減</li> <li>・先進的・省力化技術の研究・開発、導入、研修 等</li> </ul> |
| 地域内外・他業種と連携した安定出荷・販路確保の取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内外の生産者で連携したロットの確保、共同出荷</li> <li>・流通事業者等と連携した共同運搬</li> <li>・貯蔵施設等の共同利用による流通コスト低減</li> <li>・加工品の開発や販売、輸出など販売の多角化の取組</li> <li>・小売事業者等と連携し店頭で有機農業の取組紹介を行うなどの販促活動 等</li> </ul>      |
| 地域内外の消費者等への情報伝達の取組        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者や実需者のニーズ把握調査の実施</li> <li>・HPの充実やイベントへの出展などのプロモーション活動</li> <li>・生産履歴を用いた事業者や消費者への遡及の取組</li> <li>・学校給食への提供や出張講座の実施などの食育活動</li> <li>・農村体験の実施など、地域内外との交流 等</li> </ul>             |